

第16回 静岡県教育のつどい
2023 地域民主教育全国交流集会



楽しくておもしろい学びと育ちを
みんなで支える地域と学校にするために
わたしには何ができるのだろう

成長・発達の仕方が一人一人ちがう多様な子どもたちの豊かな育ちと学びを、みんなで見守り支えようとする学校・地域の再生が、今あらためて求められています。

将来への希望である子ども・若者の、声にならない悩みや苦しみ、そして願いに耳を澄まし、保護者・市民・教職員、そして子育てと教育にかかわる行政がつどい、語り合い、何ができるのだろうか、共に考えあいましょう。今年は、「地域民主教育全国交流研究会」と合同で開催します。

日時 2023年11月25日(土) 26日(日)

参加費 1500円

会場 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」

学生・静岡の参加者は無料

(〒422-8063 静岡市駿河区馬淵1丁目17-1 電話054-255-8440)

全体会・記念講演

11月25日(土) 9:30~受付開始

10:00~12:00 開会全体会・記念講演(大会議室)

記念講演 渡部達也さん(NPO法人 ゆめ・まち・ねっと 代表)

「富士市子どもの権利条例」策定と居場所づくり

~すべての子どもに楽しさを保障するために、

そろそろ学校も福祉の視点を持ちませんか~

《静岡県教職員互助組合高校支部 教育講演会》

渡部達也(わたなべたつや)さん プロフィール

県児童相談所や富士山こどもの国等に勤務後、38歳で県庁退職。

行政ではできない社会課題の解決を目指し、重障児施設等に勤務した愛妻の美樹さんと2004年、「ゆめ・まち・ねっと」設立。

自由な外遊び環境を保障する「冒険遊び場たごっこパーク」や放課後の居場所「おもしろ荘」、自宅を改装した「みんなの家むすびめ」を運営。

生きづらさを抱えた子ども・若者が集う居場所づくりは、日本テレビやテレビ東京などメディアで度々特集され、昨年はNHKスペシャルも報道。

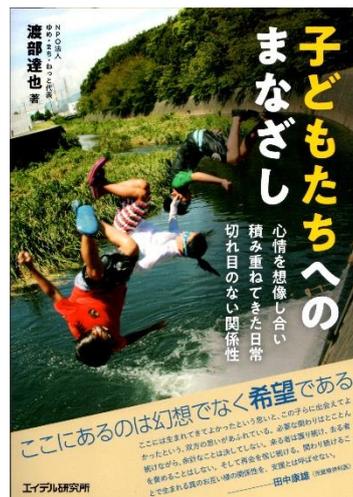
総務大臣賞、県知事表彰、スミセイ未来賞、義農大賞など受賞多数。

毎日新聞、日本教育新聞等での連載や情報誌への寄稿多数。

著書に『子どもたちへのまなざし』(2021年、エイデル研究所)。

県少子化対策協議会委員、富士市立高校PTA会長、富士市子どもの権利条例懇話会委員、同子ども・子育て会議委員など歴任。

夫婦で里親もし、妻の美樹さんは民生委員児童委員も担当。



分科会

11月25日(土) 13:00~17:00 12:30~ 午後の部受付開始

11月26日(日) 9:15~11:20 11:30~12:00 全体閉会集会

分科会		報告者とテーマ
A 子ども分科会 (特別会議室 30人)	25日	基調報告 前田晶子(神奈川)・田辺基子(神奈川) ① 藤木 直(静岡県立特別支援学校)「思いを伝え、やり取りする力の獲得をめざして」 自分の思いを出すことが難しく「問題行動」になってしまう子どもに、思いを伝えやりとりする力を付けてほしいと願って関わった特別支援学校小学部での実践を報告します。
		② 塚本 徹(静岡高生研)「対等な関係性を探る生活指導」～「ケアの倫理」を手がかりに～ ゼロトシ的な学校管理体制のなかで、生徒の人権を尊重しようと対等な関係性を探ってきました。学年主任として一生徒の退学を止められなかったこと、発達に課題を抱える生徒との関係で学んだこと、職員会議を通してチケット制を無くしたこと。いま管理とケアのはざままで悩む皆さんと共に読み解きたいと思います。
		③ 西村健祐(大阪秋桜高校) 「私の変化 ～Hとの関わりを通して～」 昨年度、子ども分科会で私の報告の中でとりあげてもらったHとの3年間の関わりを報告します。Hの行動の変化を通して、子ども観や秋桜が大切にしている事がどうしたことなのか、私自身の捉え方の変化について報告できればと思います。
	26日	④ 太田直人(静岡 小学校)「認め合い、助け合いのできる学級～30人の仲間との1年間」 小学校での学級づくりの実践です。1年の最後に、優しいクラス、思いやりのあるクラスという子どもたちの声を聞くことができました。そんな1年間の取り組みを紹介します。
		⑤ 分科会総括討論
B 学習分科会 (第1会議室 28人)	25日	基調報告 渡邊由之(大阪) ① 大石由未(静岡 中学校) 「大石又七さんを学び『語り継ぎ部』を育てる授業」 「伝えたいことがある」第五福竜丸の元乗組員、大石又七さんが私たちに残したメッセージが、中学3年生の道徳の教科書に載っています。事実を伝える、そして考える1時間について、実践発表します。
		② 上野山小百合(大阪 関西大 体育同志会) 「小学校と大学での性教育の実践」 小学校で学級担任時の性教育実践と大学生と考えた中高生の性教育の授業づくりについての報告です。教師の願いや思いをどの教材でどのような方法で伝え、どのような学び合いができるのかを交流したいと思います。
		③ 富樫耀(高知 とさ自由学校) 子どもにとっての「良い教育」とはどのようなものか 学校批判やオルタナティブスクールなどが隆盛な昨今。自身も公立から私立に移ってみて…システムや環境と関係なく、子どもにとって良い教育って何?教育における自由って何?悩みながらの奮闘です。
	26日	④ 静岡県立大・静岡大SSS 「静岡学習支援ネットワークの活動」 静岡学習支援ネットワークは、主に一人親家庭や生活困窮者世帯などの子どもたちの学習支援や居場所支援を行っており、「勉強をしたくても、できない子どもたち」の力になりたいという大学生が集まった団体です。
	⑤ 分科会総括討論	
C 学校・教師分科会	25日	基調報告 花田讓司(佐賀) ① 長澤 裕(静岡 中学校)「中山間地の学校で、子どもと地域と一緒に学校をつくる」 学校統廃合の嵐の中で姿を消しつつある中山間地の小規模校。報告では、小規模校だからこそできる豊かな教育の様子を紹介し、学校統廃合について考えるきっかけ作りができたと思っています。
		② 長澤美穂・長谷川寛・前田浪江(静岡)「小・中・高での『性の多様性』に関する実践」 学校がどの子にとっても安心できる居場所となるために、私たち教師ができることは何でしょうか。夜間定時制高校におけるトランスジェンダーの生徒と出会った中での取り組みや気づき、公立小中学校でおこなった性の多様性に関する指導の実践を報告します。

C 学校・教師分科会 (第2会議室 48人)	25日	<p>③ 早川恵子(静岡 高校)「一人ひとりの生徒に寄り添う学校へ」 発達障害の生徒から「学校の当たり前」を問い直すことを学び、誰も排除されない学校をつくらうと生徒の声を聴き取りながら学校の指導の在り方を変えていこうとした相談室と学年主任実践です。</p> <p>澤田あや子(静岡 高校) 「男子高校生の『援助希求』行動向上のために」一相談室運営と文学の授業から— 男子高校生の『援助希求』行動向上のために男子のパワーの世界では出しにくい、弱った自分をどこで言語化できるのか、家族以外で安全地帯になる相談室のゲートキーパーとしての役割を考えながら、男子の相談数が急増したことの理由について授業実践と重ねて報告します。</p>
	26日	<p>④ 竹澤成那・村上菜都美(大阪秋桜高校)「支える側が支えられる」 子どもたちの「明日も行きたい、生きていたい」を支えていたら、いつの間にか私たち自身が“生きること”を子どもたちに支えられていました。約2年、子どもたちや教職員と過ごして感じたことを報告したいと思います。</p>
		⑤ 分科会総括討論
D 地域分科会 (第2研修室 56人)	25日	<p>基調報告 大口久克(北海道)</p> <p>① 岡崎航平・山口良二(静岡)「平和をつくる若者たち エバーグリーン藤枝の取り組み」 地域で平和をつくる! ~エバーグリーン20年目を迎えて~ 活動を通して変わっていった高校生たち、自分自身の変化を報告します。</p> <p>② 小和田尚子・渡邊慈子(静岡)「就労支援団体の高校内カフェ~生きづらさを地域で支える~」 高校生の居場所カフェが全国で広がっています。居場所を持たない就労支援団体が高校内で居場所カフェをやるのはなぜか。地域の人たちが子どもたちの生きづらさに寄り添い、就労に向かっていく過程を報告します。</p> <p>③ 大野木龍太郎(静岡・日本部活動地域移行文化部推進本部)「部活動の地域移行を考える」 岐路に立つ部活動、多忙化解消の働き方改革の名のもと、部活動を学校から地域に移行する動きが加速しています。しかしその改革は地域により戸惑いが見られます。掛川市・浜松市・静岡市の取り組みから、地域移行の現状・課題・展望を探ります。誰のための改革なのか?</p>
	26日	<p>④ 柳 憲一(北海道)「『北海道子どもセンター』から見える子ども・若者・保護者」 子育て・教育電話相談の取り組みを約20年前からはじめ、これまで約3000件の子ども・若者・保護者などの生きづらさや困りごとに対応してきました。現在、『さっぽろ子ども・若者白書』編集の軸になると共に、『子どもの権利条約市民・NGOの会』に参加し、北海道から基礎報告書を出そうと取り組んでいます。</p>
		⑤ 分科会総括討論

11月26日(日) 11:30~12:00 全体会・閉会集会 (第1研修室 88人)

☆ 地域民主教育全国交流研究会総会 25日(土) 17:15~18:15 (第2会議室)

☆ 大交流会 25日(土) 18:30~「^{とりさい}鶏菜」海鮮と産地鶏の炭火焼 駅南口 静岡交通ビル 8F (5000円)

☆ オプショナルツアー 26日(日) 午後 (交通費・入館料等は実費負担、お願いします)

・「ゆめ・まち・ねっと」渡部夫妻による現地ガイド(富士市)新富士駅から車で移動(静岡から片道40分)

・「ふじのくに地球環境史ミュージアム」(静岡市内)静岡駅から自家用車に乗り合わせて往復(往復約40分)

◎つどい主催 静岡県教育のつどい実行委員会・地域民主教育全国交流研究会

◎教育講演会主催 静岡県教職員互助組合高校支部

静岡県教育研究会・静岡県教育会館・静岡県教育事業団体連絡会

◎後援 静岡市教育委員会

◇参加申し込み 11月18日(土)までに、下記にFAX・メール・QRコード等をお願いします。

宿泊については、各自でのご手配をお願いします。

◇第16回静岡県教育のつどい実行委員会事務局 静岡市葵区末広町1-4

全教静岡 Tel 054-253-3331 Fax 054-270-7802 zenkyoshizuoka@dream.ocn.ne.jp

静岡高教組 Tel 054-254-6900 Fax 054-254-0814 info@s-koukyouso.jp

参加申込書

参加費 1500 円
学生・静岡の参加者は無料

どなたでも参加できます。
お早めに申し込みをお願いします。

所属	ご氏名	連絡方法	電話
			メールアドレス

参加希望に○を記入してください。希望する分科会にはA～Dの記入をお願いします。

11月25日(土)	10:00~12:00	全体会・記念講演 渡部達也さん	
	13:00~17:00	A 子ども分科会	
		B 学習分科会	
		C 学校・教師分科会	
		D 地域分科会	
17:15~18:15	地域民主教育交流研究会総会		
18:30~	大交流会「鶏(とり)菜(さい)」(5000円)		
11月26日(日)	9:15~11:20	A 子ども分科会	
		B 学習分科会	
		C 学校・教師分科会	
		D 地域分科会	
	11:30~12:00	全体会	
13:00~ オプションツアー	「ゆめ・まち・ねっと」現地見学		
	「ふじのくに地球環境史ミュージアム」		

☆メール・ファックス送り先 (申込書を写真撮影して、メールに添付して下さっても可)

○全教静岡 Fax 054-270-7802 zenkyoshizuoka@dream.ocn.ne.jp

○静岡高教組 Fax 054-254-0814 info@s-koukyouso.jp

☆下記URL、右記QRコードからも参加申し込みができます

<https://forms.gle/nisMbXRHfQ2fXwtu5>

